

## 令和5(2023)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

### 団体名

NPO 法人せたがや水辺デザインネットワーク

### 活動のテーマ

汽水の場をひらくこと～まちで自然と暮らす

### 9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ① 「汽水の場をひらく」建物の竣工が遅れ、また、建物の竣工以降も全体ランドスケープの造作が続いたこと、猛暑の中で1階のクーラーの設置が遅れたことなどから、定期的に場をひらくことを告知することはしなかったが、設計や施工大工、植栽担当、オーナーなどの関係者や、地域での活動者、親子、近所の方、行政関係者などが、ランダムに行き来し、自然発生的に交流を持つ場となった
- ② 「汽水の生きものの講座」→野外で行った。夏休み最後にすいか割り、花火、食事会を行った

### 今後の活動予定と令和6年3月末時点の達成予定事項

- ① 10月1日(日) 夢見る小学校上映会(主催:ポレポレ研究所)
- ② 10月～11月隣地あきちでの世田谷区子ども基金を利用した、カーゴバイクをまちで製作する事業、道路予定地に花を植え、地域にひらいたひろばにしていく活動と連動する
- ③ 11月19日までに「ちゃぶ台プロジェクト」。2016年に道路計画で切り倒された地域に愛された通称「ゴジラ松」の残材で、ちゃぶ台を制作。建物の建築に携わった笠倉建設の大工さんの仕事場を見学、一部制作に参加させてもらう。ちゃぶ台を囲み談笑するイメージで意見交換を行えるよう設置。
- ④ 11月19日(日)「いるだけ会議」開催。オーナーの安藤勝信氏と弊社の活動に興味を持っている産官学民に声がけし、場を見てもらい、その可能性について語り合う会。世田谷区区長保坂のぶと氏、政治学者中島岳志氏、美学者伊藤亜紗氏など参加予定。
- ⑤ 11月25日(土)「まきまき講習会」NPO法人ナチュラルリングトラスト副理事・まきまきカフェオーナー。里山の再生に取り組み都市での薪ストーブの利用を推進する活動者に講師をお願いし、里山について、都市部での森林の問題などの講座とともに、薪割りの体験ワークショップ、薪ストーブを使っのピザ調理、参加者で薪ストーブで焼いたピザを食べて体験共有と意見交換をする
- ⑥ 薪置き場つくりワークショップ 薪ストーブの活用のために必要となってくる「薪置き場」について、場を建築中に掲示板として設置していた黒板を解体した材を利用して、前出の笠倉建設の大工さんを講師に、参加者と一緒に作る
- ⑦ 12月後半～1月前半(学童冬休み中)映画「杜人」の上映と交流会
- ⑧ 2月1日世田谷区補助事業「おでかけひろば」開始予定(現在プロポーザル申請中。決定は11月下旬)週3日、1日5時間乳幼児と養育者が気軽に集えるひろば(レスパイト事業併設)の実施を申請中。

・3月末時点では、産官学民子がゆるくつながれる可能性がある場としての認識を持ってもらう入り口に到達していきたい。

▶NPO 法人せたがや水辺デザインネットワーク

▶汽水の場をひらくこと～まちで自然と暮らす～

▶2006年、せたがや水辺の楽校として始まった市民活動を受けて、2018年にNPOを設立。

地域のオトナが地域の子どもを見守る、自然観察体験学習を続けてきました。野外体験活動を続けてきましたが、屋根のある場を得るチャンスがあり、オーナーや、それを創造する設計者、施工業者とも協力し、産官学民子が、ゆるく交流できる汽水域（淡水と海水が混在する水域）のような栄養たっぷりです。ゆったりとした地域の拠点を作り、自然と調和しながら、ひとり一人が尊重される社会づくりの一助になりたいと思い、この助成を申請し、活動させていただいています。

▶9月までは、建物の竣工が遅れたこと、ランドスケープの造作が8月半ばまでかかったことなどから、大々的に地域にひらくような活動はできませんでした。が、逆に「なんだろう？」のような投げかけとともに、なにげなく地域の方たちと交流する機会も持て、大きくイベントをうつという手法ではなく、じわじわと浸透していくような拡がりの良さを感じています。

▶今後の活動

大きな3つのイベントを柱に、そこに暮らす産官学民子が気軽に声をかけあうような場づくりをしていきたいと思っています。

・11月19日：いりだけ会議：区長や、学識者などコミュニティ作りに重要な役割をもつキーマンが「いりだけ」の会議を開催します

・11月25日：家に導入した薪ストーブの活用について、実際に世田谷区内の住宅街で薪ストーブを導入したカフェのオーナーを招き、地域の持つ森林活用の問題、薪ストーブ活用の大切さと方法をレクチャーしてもらいます。

・冬休み：映画「杜人」の自主上映と薪ストーブを囲んだ交流会の実施



煙突のある、正方形に近い塔をイメージした建物は、 BioForumデザイン室の設計。隣地は、都市計画道路補助216号線予定地。世田谷区の土木2課と協議の上、地域に開かれたひろばとしての活用を模索中。世田谷区子ども家庭課、みどり33、砧公園事務所など複数の所轄と協働している。





↑7月近隣の親子が土間を利用してお弁当を食べていたので畑のスイカを提供。



夏休み中には猛暑で行き場がなく、遊びに来た



8月5日設計主催の建築お披露目会



人は自然に集まってくる



8月24日 すいかわり・ごはん・花火



汽水の講習は野外教室で

